

<第58回総会アピール>

**安倍政権の憲法25条・社会保障解体、「戦争する国づくり」阻止  
へ、憲法九条を守り、社保協運動を強化・発展させ、広範な共同を  
前進させよう**

2014年7月14日

第58回中央社会保障推進協議会総会

いま、国民は、平和、社会保障などの分野で解釈改憲を強行する安倍暴走内閣の下で、これまで以上にいのちと健康への不安を抱えた暮らしを余儀なくされています。

安倍政権は、憲法25条・社会保障そのものを変質、解体させ、日本の国のあり方を根底から覆そうとしています。民主・自民・公明の三党合意で成立した社会保障制度改革推進法、同国民会議報告書の下、消費税増税、「プログラム法」、「医療・介護総合法」を強行成立させました。

さらに、「経済財政運営と改革の基本方針2014（骨太の方針）」、「日本再興戦略改訂（新成長戦略）」を閣議決定し、小泉政権時代の社会保障抑制路線を完全復活させようとしています。

これに対し国民の怒りの声が各地・各分野であがり、新たな共同が大きく広がっています。まさに今、「権利としての社会保障」の確立をめざす社保協運動の出番です。

国会審議に影響を与えた社保協の「自治体アンケート調査」、4・24 ヒューマンチェーン行動、国会前座り込み行動など各県社保協や加盟団体の共同の力で成功させた取り組みは、あらゆる分野の専門団体を結集して共同を広げる社保協の存在意義を発揮しました。

いまこそ運動をすすめるなかで組織をつくり、強化し、共同を広げ、国民的たたかいを大きく進めましょう。